

## 今月のトピックス

- ・年末年始の外来診療について（詳細は4ページに掲載）
- ・クリスマスツリーを飾りました（詳細は9ページに掲載）

## 病院からのお願い

院内では必ずマスクの着用をお願いいたします。マスク着用のない方は、診察室への立ち入りをご遠慮いただきます。

# ろうさいニュース

第245号 2022年12月1日

## 労働者健康安全機構 新潟労災病院

〒942-8502 上越市東雲町1-7-12 電話：025(543)3123 FAX：025(544)5210

地域医療連携室 電話：025(543)7190 FAX：025(543)7110

ホームページ：http://www.niigatah.johas.go.jp

## もう一人の父

副院長 柿沼健一

北ドイツの古都リューベックには、重厚なゴシックの市庁舎にほど近く、聖マリア教会がある。

1705年、青年バッハが徒歩で400kmの遠方から訪ねたことで知られる。当代随一の音楽家ブクステフーデのオルガン演奏を聴くためである。逗留は4ヶ月に及んだ。

私は、そこでバッハを聴きたいと恩師に請うていた。

晩秋の夕刻、その眷恋の地でバッハのオルゲルビュッヒラインを聴いた。演奏が終わり、先生に「何も言わなくていいから」と肩に手を置かれて教会を出た。褐色の煉瓦づくりの美しい街は、霧に包まれていた。そして、なお消かねる感激の余韻の中を、先生と無言のうちに歓を共にして歩いたのであった。

父親からの薫育の有り難みは、どなたも実感なさっているであろう。

しかし、私には、もう一人の父がいる。長年師事し、冒頭に書いたフリードリッヒ・ツイベーツ教授である。2019年に急逝されて以来、先生は私のもう一人の父であったとの思いが強くなるばかりだ。

初めてお会いしたのは、1996年のローマである。先生は私の口演の座長をなさったのであるが、会場に登場された折のお姿は威風凛々たるものであった。まさか後年、その方を我が父と畏愛するようになるとは思ってもよらなかった。翌97年にもベルリンで先生が座長され、98年には私も文部省在外研究員として先生の弟子の尾端に座った。99年はフランスのナンシー、2000年には招待公演のためご来日、拙宅で一週間を過ごされた。以降、何度先生を訪ねて渡独したことだろう。

鈍才も、いつしか先生の愛業の弟子になっていったようだ。いつもいつも、「待っていたぞ」と大きく両手を広げて出迎えて下さり、別れには青い眼に涙が滲んでいた。

もはや、先生の温容に直に接することは叶わない。

「また訪ねてくれたら大いに嬉しいのだが」「何という素晴らしい今日の驚きだ。この春に来るとは！」と電話や手紙を頂戴することも、もはや無い。

弱志ゆえ先生からの学恩に報いることの少なかった私を、どうして過分にお引き立て下さったのか伺ったことがある。お答えは、“ I have been speaking very highly of you. Very highly. “ であった。

先生は、まぎれもなく我が慈父であった。

知辺に留学組も少なくないが、このような境涯は寡聞にして知らない。

終わりに、先生との思い出のつきない郷愁の街々を訣別の思いを込めて列記しておきたい。先生のおられないそれらを二度と訪ねることはあるまい。

ハンブルク、ベルリン、ポツダム、ローマ、アガーテンブルク、ツェレ、ナンシー、キール、ハノーファー、トラベミュンデ、そしてリューベック。

私は、まことに果報者である。



ハンブルク、幾度となくお招きにあずかった先生のお宅での夕食。日独国旗は、先生のお手製。



お二人との今生の別れのハノーファー、奥様は産科医としてご活躍なされた。そして、いかなる時も親身に遇して下さいました。

# 排尿症状に用いる薬のお話し

泌尿器科部長 小池 宏

当科の外来には、さまざまな排尿症状を訴えて患者さん・ご家族が来院されます。診察は、まず問診から始まります。次いで、内服している薬を確認して、尿検査や血液検査、超音波検査を行いながら理学的な所見を確認します。場合によっては、尿流動態を確認する検査や内視鏡検査を行って、どのような排尿状態かを診断して、治療に移ることになります。患者さんは70歳台以降の高齢者が多く、頭を含めて全身的な身体機能の低下に伴って症状が起こっていることが多いようです。

しかし、患者さんの中には排尿に関する薬が、すでに掛かりつけ医から処方されていることがあります。掛かりつけ医が患者さんの話をよく聞いてくれるためだと思いますが、尿が近いとか漏れて困るとかの訴えから投薬を始めたものです。「頻尿・過活動膀胱」の治療薬の中には、あまり高齢者には向かない薬もあると考えています。今回、薬剤部の協力を得て、排尿症状の治療薬についてまとめたものを作成しました。ご参考まで。私の考えでは、頻尿や尿失禁は確かに困る症状ですが、膀胱に貯まった尿を排出させることができることの方が、より重要だと考えています。

また、中高年の女性の場合には骨盤底筋体操を行うと、だいたいの患者さんで頻尿や尿失禁の症状に改善が見られることをよく経験しています。まずはお試しすることをお勧めします。

もちろん、若い頃のようにいっさい排尿に困ったり、排尿のことが気になったりしなかった状態に戻すことは、難しいと考えています。しかし、投薬を含めて、何らかの方法で日常生活に困ることなく過ごすことができることを目標にして治療しています。

<p>★ 排尿障害の治療薬 (α1遮断薬) <b>男性のみ適応</b></p> <p>「膀胱頸部の筋の緊張をやわらげ、尿を出しやすくし、残尿をへらします」 適応：前立腺肥大に伴う排尿障害</p> <p>□ ユリーフ (シロドシン) 1錠4mg 1日2回 症状に応じて適量増減</p> <p>□ フリバス (ナフトピジル) 1錠25～75mg 1日1回 ※当薬で副作用作用予防のため1錠25mg 1日3回で処方しています 症状により適量増減 1日75mgまで</p> <p>□ ハルナール (タムロシン) 1錠4mg 1日2回 症状に応じて適量増減</p> <p>適応：前立腺肥大症、神経因性膀胱に伴う排尿障害 <b>男女共通薬</b></p> <p>□ エブランチル (ウラビジル) 1錠15mg 1日2～3回より開始 効果不十分では1日60～90mgまで増量 1日90mgまで</p> <p>★ 前立腺肥大症の治療薬 <b>男性のみ適応</b></p> <p>適応：前立腺肥大に伴う排尿障害</p> <p>□ アボルブ (デュタステリド) 「男性ホルモンの働きを抑え、前立腺の肥大化を抑えます」 1錠0.5mg 1日1回</p> <p>□ ザルティア (タダラフィル) 「血管内の血流を増やし、排尿状態を改善します」 1錠5mg 1日1回 ※有無症に応じて減量します</p> <p>□ プロスタール (クロルマジノン) 「男性ホルモンの働きを抑え、前立腺の肥大化を抑えます」 1錠25mg 1日2回 ※徐放剤の場合は1錠50mg 1日1回</p>	<p>★ 排尿困難改善薬 <b>男女共通薬</b></p> <p>「膀胱の収縮力を高め、残尿を減らします」</p> <p>□ ベサコリン (ベタネコール) 散剤 (粉ですり) です 1日30～50mg 1日3～4回 半錠、症状により適量増減 適応：尿閉改善</p> <p>□ ウブレド (ジスチグミン) 1錠5mg 1日3回 5mg ウブレド 5mg ウブレド 1日5mg 症状により適量増減 適応：神経因性膀胱などの低緊張性膀胱による排尿困難</p> <p>排尿のしくみ</p> <p>2022.6.23作成 発行 / 新潟労務病院 泌尿器科・薬剤部 URL: <a href="https://nawano-oncology.jp/index.html">https://nawano-oncology.jp/index.html</a> より転載</p>
--	--

**★ 過活動膀胱の治療薬（抗コリン薬） 男女共通薬**  
 「膀胱の緊張を和らげるお薬です。膀胱排尿筋の収縮力を弱めます。」  
 ※ただし、場合によっては尿球を増やす可能性があります。注意が必要です※  
 ※心・過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性失禁

□ トビエース（フェンテロジン）  
 1錠4mg 1日1錠  
 症状に応じて1日1回〜4回まで増減できる

□ ベシケア（ソリフェナジン）  
 1錠5mg 1日1錠 1日最大10mgまで

□ ウリトス（イミダフェナジン）  
 1錠0.1mg 1日2回 朝夕食後  
 効果不十分では1錠0.2mg 1日最高0.4mgまで増減できる

□ ステープラ（イミダフェナジン）  
 1錠0.1mg 1日2回 朝夕食後  
 効果不十分では1錠0.2mg 1日最高0.4mgまで増減できる

□ ボラキス（オキシブチニン）  
 1錠2〜3mg 1日3回

□ デトルシール（トルテロジン）  
 1錠4mg 1日1錠

□ バップフォー（プロベヘリン）  
 1錠20mg 1日1回食後  
 効果不十分では1錠20mg 1日2回まで増減できる

□ プラダロン（フラボキサート）  
 1錠20mg 1日1回食後  
 効果不十分では1錠20mg 1日2回まで増減できる

**★ 失禁の治療薬 男女共通薬**  
 「膀胱収縮の緊張を高めて、失禁症状を改善します」  
 ※適応：切迫性失禁

□ スピロベント（クレムプロロール）  
 1錠20mg 1日2回 朝夕 1日60mgまで

**★ 過活動膀胱の治療薬（β<sub>3</sub>作動薬） 男女共通薬**  
 「膀胱の緊張を和らげ、尿を膀胱に貯めやすくします」  
 ※ただし、場合によっては尿球を増やす可能性があります。注意が必要です※

□ ベタニス（ミラベクロン）  
 ベタニス 25mg  
 ベタニス 50mg  
 1錠50mg 1日1回食後

□ ペオーバ（ビベクロン）  
 ペオーバ錠 50mg  
 1錠50mg 1日1回食後

適応：過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿、切迫性失禁

**過活動膀胱と治療薬**

過活動膀胱 抗コリン薬による治療 β<sub>3</sub>作動薬による治療

2022.6.23作成  
 発行/新潟中央病院 泌尿器科・薬剤部  
 URL: <https://naimyo.ohyokan.jp/index.html>より印刷

## 診療科のお知らせ

### ■ 内科

毎週木曜日に上越地域医療センター病院総合診療科 倉辻医師が診療を行っています。

### ■ 糖尿病内科

毎週金曜日に昭和大学医師が交代制で診療を行っています。

12/2 竹鼻 伸晃 12/9 山岸 昌一 12/16 八島 広典 12/23 山岸 昌一

※ 診療は原則予約制です。ご予約は地域医療連携室にて承ります。

地域医療連携室（直通）：電話 025-543-7190

## 年末年始の外来診療について

外来診療は下記の期間、休診となります。

記

12月29日（木）～1月3日（火）

但し、急患の方はお電話にてお問い合わせください。



## 新潟労災病院の理念

“働く人の健康を守り、地域医療に貢献します”



## 新潟労災病院の基本姿勢

1. 良質で安全な医療を行います。
2. 患者の権利を尊重し、患者中心の医療を行います。
3. 急性期医療、回復期医療を通じ、地域医療における中核的な役割を担います。
4. 働く人の健康を守ります。

## 患者さんの権利

1. 人間としての尊厳をもって医療を受ける権利
2. 当院の提供する良質で安全な医療を受ける権利
3. 自らの健康状況を理解するために必要な情報を、当院から得る権利
4. 当院の提供する医療の内容および予測される結果について説明を受ける権利
5. 他施設の医療者の意見（セカンドオピニオン）を求める権利
6. 当院から必要な説明を受けたうえで、自分の自由な意思に基づいて選択し、あるいは拒否する権利
7. 診療に関する記録の開示を求める権利
8. プライバシーが保たれる権利
9. 医療費の報告および医療費の公的援助に関する情報を受ける権利

## 患者さんの責務



1. 自らの健康に関する情報を正確に医療者に伝える責務
  - ・最適な検査や治療を受けるために、自身の健康に関する情報を詳しく正確に提供してください。
2. 診療等に関して自らの意思を明らかにする責務
  - ・医師から十分な説明を受けた上で、診断・治療方針について、自らの意思を明らかにしてください。
3. 診療等に関する指示や助言を守る責務
  - ・診療を円滑に受けるため、医療従事者の指示や助言を守ってください。
4. 病院の規則に従い職員や他者へ迷惑を掛けない責務
  - ・すべての患者さんが、安全で良質な医療を受けられるように配慮するとともに、当院職員が適切な医療を行うのを妨げないよう協力してください。

# 健診部からのお知らせ

## 人間ドック

○胃の検査は内視鏡で行います。

○「がん検診・生活習慣予防コース」「腫瘍マーカー」をオプションとして追加できます。

・料金 44,550円(税込)

・実施日 木曜日 8:15～



身体計測	身長 体重 腹囲 BMI(肥満度)
眼と耳の機能	眼圧 視力 聴力
問診 診察	情報提供と説明 指導
胸部X線	※オプション項目である肺がん CT を追加される場合は省略できます
消化器	内視鏡検査(経鼻又は経口) 便潜血検査(2回法)
腹部超音波検査	肝臓 胆嚢 膵臓 脾臓 腎臓 腹部大動脈
生理機能	呼吸機能 肺年齢 血圧 心電図 心拍数
血液	肝腎機能 血糖 脂質 血球 炎症反応 血液型(初回) 血液凝固検査
尿検査	尿蛋白 尿糖 尿潜血 ウロビリノーゲン PH 比重 沈渣

- ◇ 胃X線(バリウム)検査をご希望の方、又は胃の検査を希望しない方は、ご相談ください。
- ◇ 腫瘍マーカー検査を 3,300 円で追加可能です。男性:CEA,CA19-9,PSA 女性:CEA,CA19-9,CA125
- ◇ 前日の夜より、食事や飲んでいるお薬についての注意事項があります。詳しくは、人間ドックの案内をご覧ください。
- ◇ 1日ドックには、院内食堂「エデン」又は、売店で使用ができる利用券が付きます。
- ◇ お申込みは、受付日より、約 2 週間後からとなります。予約日の変更、オプション検査の追加や変更についてはお早目にご連絡ください。混み具合により希望日にご予約出来ない場合があります。
- ◇ 会社等ドック補助金の書類がある場合は、事前にお申し出ください。

## お手軽ドック(生活習慣の簡易コース) 13,750円(税込)

お手軽ドックでは、特定健診をさらに進めて胸部X線、心電図、尿検査を行います。

※予約が必要ですが、来院時間をご都合に合わせて決めていただけます。

身体計測	身長 体重 腹囲 BMI(肥満度) 問診		
血圧	心電図	胸部X線	尿(糖 蛋白 潜血)
血液	肝腎機能 血糖 脂質		

## 膵がんコース

○膵に特化したエコー、MRI で膵がんの早期発見を目指します。

○コースは、MRI コースがおすすめです！

	内 容	料金(税込)
MRI コース	腹部 MRI 膵臓エコー 腫瘍マーカー(CA19-9)	28,600円
エコーコース	膵臓エコー 腫瘍マーカー(CA19-9)	6,930円

## がん検診・生活習慣病予防・感染症コース

★は1日ドック、●はフレイル予防健診に含まれます。

	内 容	料金(税込)	
がん検診	①甲状腺	ホルモン測定 甲状腺エコー	8,250円
	②肺	低線量肺CT	9,900円
		低線量肺CT 腫瘍マーカー ※腫瘍マーカーは男女で一部異なります	13,200円
	★③胃	内視鏡 血液凝固検査	16,500円
	★④大腸	便潜血(2回)	1,650円
	⑤肝胆膵腎	★●腹部超音波 肝炎ウイルス(B型、C型)	8,195円
	⑥前立腺	PSA	1,870円
	⑦乳腺	マンモグラフィ 乳腺エコー	10,120円
		マンモグラフィ	6,380円
⑧子宮	内診 子宮頸部細胞診 子宮卵巣エコー(子宮体がんの検査を含む)	4,400円	
⑨アミノインデックス	男性(胃、肺、大腸、膵臓、前立腺)	25,300円	
	女性(胃、肺、大腸、膵臓、乳、子宮・卵巣)		
生活習慣病予防	●⑩頸動脈の動脈硬化	頸動脈エコー	6,050円
	⑪内臓脂肪測定	腹部CT	3,300円
	⑫骨密度	X線(腰椎+大腿骨頸部)	4,950円
	●⑬骨格筋量測定	体成分分析装置(筋肉量)	550円
感染症	⑭肝炎ウイルス	B型(HBs)、C型(HCV)	2,365円
	⑮HIV	HIV	1,430円

## フレイル予防健診

○フレイルとは、要介護になる手前のバイタリティが低い状態を指します。

○専門スタッフが、一人ひとりに合わせた適切なアドバイスを行います！

	内 容	料金(税込)
総合コース	基本項目＋嚥下・咀嚼の評価、指導＋運動指導・栄養指導	38,000円
歯科コース	基本項目＋嚥下・咀嚼の評価、指導	33,000円
運動・栄養コース	基本項目＋運動指導＋栄養指導	33,000円

### 〔基本項目〕

	内 容
身体計測	身長 体重 腹囲 BMI(肥満度) 骨格筋量測定(歯科コース除く)
腹部超音波検査	肝 胆 膵 脾 腎臓 腹部大動脈
血液	肝・腎機能 血糖 脂質 血球計算 炎症反応
尿検査	尿蛋白 尿糖 尿潜血 ウロビリノーゲン PH 比重 沈査
頸動脈エコー検査	頸動脈の動脈硬化の有無
心電図検査	不整脈と虚血性病変の有無
問診・診察・指導	健診の事後指導、総合的な判断と助言(医師) 助言が必要な項目の確認(社会参加の状況、心の健康、認知機能など)、相談窓口の紹介(看護師)
個人指導	歯科指導:嚥下・咀嚼機能の評価、指導(歯科医師、歯科衛生士) 運動指導:骨格筋量測定データを基に各種運動の紹介(理学療法士) 栄養指導:食事習慣の把握、低栄養状態予防の指導(管理栄養士)

## <新規> 歯科ドック

○口腔機能低下予防のためのコースをご用意しました！

	内 容	料金(税込)
オーラルフレイル検診	嚥下、咀嚼、舌運動、口腔乾燥、咬合力、医師による診察	8,000円
歯科ドック	う蝕、歯周病の有無、顎関節、X線を用いて顎骨内外と副鼻腔の状態、医師による診察	11,000円

すべて予約制です。下記の方法でご予約ください。

- ① お電話またはFAX、医事課0番窓口にてお申し込みください。
- ② ドック・検診申込書をホームページ(<http://www.niigatah.johas.go.jp/>)よりダウンロードできます。

担当: 医事課 健診係

電話 025-543-3123 内線(1233) 平日 8:30~16:00

FAX 025-543-7110



## ★★クリスマスツリーを飾りました★★

当院1階正面玄関ロビーに恒例の巨大クリスマスツリーを飾りました。色とりどりの飾りを付けたツリーがロビーを華やかに演出しています。お近くに来られた際は、ぜひお立ち寄りください。



♪☆♪☆♪☆♪☆

### 散 歩 道

♪☆♪☆♪☆♪☆

ここ2・3年、週末も市内周辺で過ごすことが多くなった。普段何気なく生活しているけれど、まだまだ知らない魅力がいっぱいのこの街。春には、いつもの散歩道で山菜を見つけたり、カナチョロを捕まえたり。夏には、家から歩いて行ける場所でクワガタムシを捕まえ、五智公園の展望台に上り、南葉山のキャンプ場で、オニヤンマを追いかける。秋には、紅葉狩りと栗拾いとガサガサ。子供と一緒に少し丈夫な網を持って小川に入り、水際の草の辺りをガサガサ。タナゴ、ヨシノボリ、テナガエビ、ヤマトヌマエビ、巨大ドジョウ、ムカシトンボのヤゴ、そして手のひらより大きなモクズガニ。家の書棚に図鑑のコーナーができ、図書館に行く機会も増えた。野鳥の種類も豊富で、ガサの途中で、子供が「あっ、図鑑の表紙に載っている鳥だ！」と指さす先には、青く美しいカワセミの姿が。もうすぐ雪の季節。多すぎるとちょっと困るけれど、降るのは楽しみでもある。次はどんな発見があるだろうか。

(M・I)